



2003年1月

明治大学校友会

福岡支部だより

● 11号 ●

明治大学校友会福岡支部事務局 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212

旧記念館



慶祝新春

古賀 慶人

支部長



(平成14年10月27日 大阪にて)

TEL 092-781-0025 FAX 092-781-1827

支部長挨拶

且つては全国を舞台に 2004年福岡で全国大会を

福岡支部支部長 古賀 愛人

新しい百年をめざして

校友のみなさん、新年明けましておめでとうございます。

母校明治大学は全国校友からの百億円募金を含めた四百億円にのぼる予算のもとで、6年の歳月をかけて、これまでに神田駿河台にそびえる23階建てのリパティータワーをはじめ、これからの“新しい百年をめざして”という宣言のもとに、さらなる都市型大学の飛躍をめざして展開してきました。その成果のもとに、さる11月末宮城前の東京会館で全国の校友幹部が集まり「校友規則制定創立120周年記念式典」を盛大に行い、これからの生涯教育を含めた4学部の新設など2004年の教学の完成に向けて、大学創立当初から固い規則のもとに成り立っている大学と校友会の関係をあらためて再認識し、その上に立てさらに強いつながりを持ちながら“まい進”していくことを強く誓い合ったわけです。

大学と校友会のあり方

時代の流れのなかで大学本来の充実は当然のこととして、大学と校友会の関係がいまさら深い関係を持つ必要がどこにあるのか？という考えが起こってくるのも当然でしょうが、これからの時代の流れのなかで私達が学んできた母校明大が120年前の大学創立に当たって規定してきた“大学と校友会のこの強いあり方”を回想しながら現状を顧みれば、大学は現状の様なことで本当に将来一人歩きしてゆけるのだろうか？という疑問が生じてくるわけです。

即ち大学は形の上では存続し得ても、現状のままで進んでゆくと、私達校友との関係は下手をすれば薄いものになってしまうのではないかと、という思いがするのです。

再び全国にはばたく明大へ

簡単にいえば、昔は北は北海道から南は九州・沖縄ま

での学生で平均して占められていた学生層が、現在は東京をはじめとする関東地区を中心とした学生が大勢をなしていて、地方の学生の数が非常に少なくなっているのが現状であると言われていいます。

成績のよくない学生達を合格させるわけにはいかないと、いうのは当然のことですが、全国各地の校友会にも“入学の推薦状”を与えるなかで昔の様な全国的な視野に立った“それなりの優秀な学生達による学術と文化とスポーツの明治”を組織化してゆくことはできないものか？というのが42万人にのぼる全国校友の心のなかに、ひそかに存在している願いであり、希望であるわけです。いま国立系の大学のなかでも“大学と校友との関係による大学経営のあり方”というテーマのもとで、ひそかに取り組んでいるところがあると聞いております。

2004年に全国校友大会を福岡で

そこで私たち校友も、こうした時代の流れのなかで母校明治の将来を大学当局と共に考え“新しい前進への道”を探ってゆこうとしていることを報告して年頭のご挨拶と致します。

なお福岡支部としては、今年の長野県、松本市での全国校友大会の後を受け、2004年10月の全国校友大会を18年ぶりに引き受けるべく、既に校友会本部と協議済みであり、今後そのやり方等については県下9支部の方々と協議の上決定してゆきたいと思っておりますので何卒ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



明治大学校友会
福岡支部長

古賀 愛人

(昭和18年・24年・政経学部卒)

岩崎・多川法律事務所

弁護士 岩崎 明弘

(昭和34年・法学部卒)

事務所 〒810-0041
福岡市中央区大名2丁目2番26号
親和ビル3階

TEL (092) 781-0019番・781-0025番・771-1967番
FAX (092) 781-0102番・771-1967番

明治大学校友会福岡支部定期総会を開催

平成14年度の福岡支部定期総会が平成14年9月10日にセントラルホテルフクオカで開催されました。福岡県父母会の役員を始め県内支部のご来賓等、96名のご出席を戴きました。

総会は格調高い、萩原弘章常任幹事の司会で始まりしました。まず今年急逝されました森泰播副支部長に対して黙祷を捧げ、改めて森氏の福岡支部に対するご貢献に対して全員が感謝の念を強くいたしました。古賀愛人支部長の開会の挨拶となりました。全国校友会の動き、当支部の全般について話があり、いつもの政治評論が割愛されましたので、長からず短すぎずの内容で皆さんの心にしっかり残る挨拶でした。次に、全国校友会会長の青木信樹会長よりご来賓のご挨拶を戴きました。遠路、毎年支部総会にお出でいただいておりますが、このような支部は全国でも数少ない事です。会長さんからは大学が置かれている現状について詳しいお話を戴きました。少子化の流れで、大学も大きな変革期に直面している事。大学も今まで以上に校友会の力を借りなければ、運営面でも、経営面でも大変になるようです。又、校友会組織がない国立大学が、明大校友会等の組織運営の研究を真剣に始めたそうです。国立大学も学費が私大並となり、経営的にも大変な時代になっていくそうです。日本全国例外無く大変革の真っ只中にあることを実感した次第です。議事に入り、矢谷事務局長から一年間の事業報告がなされ、同時に今年度事業予定も報告され承認されました。そのあと、会計担当の私が収支決算報告を行いました。

た。皆さんのご協力で、若干の黒字決算となったことを発表し、感謝を申し上げます。橋本敏夫会計監査役より会計監査報告がなされ承認されました。また、上杉広報組織委員長から「支部だより」「新聞告知」の広告協力のお願がありました。

会場を3Fに移して、懇親会となりました。司会は今年度より支部幹事となりました博紫会の佐野貞和校友が今年も勤めてくれました。最初に校友会副会長で小倉支部の清末 襄支部長にご挨拶をいただき、6月に福岡県父母会の新会長にられました松田泰典会長の乾杯の発声で懇親会は始まりしました。田川支部行平輝士支部長が福岡県連合支部総会の担当支部として参加要請案内のご挨拶があり、鞍手の斎藤七平氏が鞍手地区の支部結成に向けての協力の挨拶がありました。支部校友で県政でご活躍の田中久也氏、市政でご活躍の光安 力氏にご挨拶をいただき、初参加の校友から自己紹介や会社PRをしていただきました。恒例となった抽選会では明大グッズが当たるたびに大きな歓声が上がり一喜一憂いたしました。年2回の会合であります。和気藹々の中、思い出話や近況報告をし合うなど大いに盛り上がりしました。最後は父母会の皆さんも肩を組み、津島応援団OBの指導で校歌を声高らかに斉唱し、お開きとなりました。

福岡支部常任幹事・財務委員長
善 敏治 (昭和50年工卒)

平成13年度 収支決算書

明治大学校友会福岡支部 平成13年度 収支決算書

自 平成13年8月 1日

至 平成14年7月31日

(単位=円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
費 目	金 額	費 目	金 額
前年度繰越金	1,592,896	総会費	858,274
年会費 (@3,000×241名)	723,000	校友会分担金等	242,975
総会費 (@7,000× 69名)	483,000	会議費	138,104
” (@5,000× 4名)	20,000	新年交礼会	621,421
他支部会費	367,000	慶弔費	76,275
祝儀 (総会=411、交礼会=411)	181,000	通信費	358,000
交礼会費 (@7,000× 78名)	546,000	印刷代	145,357
” (@5,000× 9名)	45,000	封筒郵資代・宛名シール代	105,981
西日本新聞名刺広告掲載料(58名)	1,069,250	西日本新聞名刺広告代	787,710
明治大学より戻入	86,960	県連合支部分担金	140,000
雑収入	20,000	雑費	27,617
受取利息	279		
小 計	5,134,385	小 計	3,501,714
		次年度繰越金	1,632,671
合 計	5,134,385	合 計	5,134,385

会計監査の結果、上記記載に相違ないことを認めます。

上記の通りご報告いたします。

平成14年8月8日

平成14年8月8日

監 査 役 橋 本 敏 夫 ㊟

会 計 善 敏 治 ㊟

監 査 役 建 川 聰 ㊟

福云及杖字



青木会長挨拶



清末校友会副会長・小倉小部長

五福同門及五杖杖字



鞍手地区にも校友会支部を



田川支部 行平支部長



ご来賓の父母会役員の方々

平成14年 明治大学校友会福岡支部懇親会



県政・市政で活躍の校友 光安市議・田中県議

明治大学校友会福岡支部懇親会



応援団OB 津島校友の指導で校歌斉唱



Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

代表取締役社長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒)

本社 〒815-0037 福岡市南区向野2-3-11

TEL 092-551-0131

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・宮崎・鹿児島・山口



小石原副支部長の音頭で万歳三喝



リオのカーニバル・イグアスの滝・アルゼンチン アマゾン・マチュピチュ・チチカカ湖・ナスカの地上絵を訪ねて

日本から一番遠い、一番感動する究極の南米ツアー

南米大陸の中でも、特に魅力あふれる国・ブラジル・アルゼンチン・ペルーの三ヶ国を訪ねます。ご年輩のお客様にもご無理のない旅行日程で、安心して旅行をお楽しみ頂けます。是非この機会にご参加ください。

旅行期間

- ◆9日間コース 2003年3月3日(月)～3月11日(火)
- ◆16日間コース 2003年3月3日(月)～3月18日(火)

旅行代金

- 480,000円(お一人様)
- 850,000円(お一人様)

一心豊かな旅創り 国土交通大臣登録旅行業 第120号 IATA 公認

日本交通観光株式会社

福岡市博多区博多駅前2-4-31第5岡部ビル3階
TEL 092 (473) 8230 FAX 092 (441) 3167
顧問 上月 武志 (昭和30年高学部卒)

全国校友大阪大会に参加して!!

“水の都 なにわに集う 駿台健児”をキャッチコピーに、明治大学全国校友大会が、10月27日大阪で開かれました。約1,200人が、大阪中之島の国際会議場に集まりました。福岡支部からは、校友会相談役の古賀支部長、小石原副支部長、生田事業部長、上杉組織広報委員長、塩崎幹事、カメラマンを勤めて下さった長谷川幹事、野口幹事と弘江夫人、矢谷事務局長、私こと荻原総務委員長の10人が参加しました。

午後2時からの式典では、青木信樹校友会長の挨拶に続いて、長吉 泉明大理事長が、開発B地区の名称募集が600余通集まり、その中から「アカデミーコモン」と名付けられたことなど、母校の明るい発展を力強く語られました。栗田 健総長は約98億5千万円での募金終了の宣言と、校友各位の協力に対し感謝の意を述べられました。山田雄一学長は文部科学省が2001年に発表、2002年1月に再提示をした「21世紀COEプログラム」いわゆる「トップ30」の育成重点政策に申請をし、学長以下4名にて審査委員会の面接を受けたが、残念ながら採択されず校友に対し陳謝され、来年は全力を傾けて頑張る所存であると誓われました。

記念講演は、作家の阿久 悠 (34年文卒) さんが「私の学生時代」と題して講演、ロックンロールにマンボの上陸、石原慎太郎現東京都知事の太陽の季節、特急こだまが走り関西が近くなるなど社会事情を重ねて語られましたが、夏に癌の手術をされたせいかやや声にハリがないのが気になりました。このあと邦楽のアトラクションがあり、5時半から隣のRロイヤルホテルの懇親会に移りました。大阪名物の、たこ焼き、おし寿しなどもたくさ

んまじえた懇親会は、村山富市 (昭和21年卒) 元内閣総理大臣の乾杯ではじまり、多くの校友が懇親を深め、例年になく女性の校友が数多く目立っている印象を持ちました。

来年は10月3日 (金) に長野県松本市で開かれます。藤原一二松本支部長によると、いで湯とリゾートの松本、観光の長野ということで、土、日は観光に回ってもらいたいとのこと、したがって夫人同伴にて参加を呼びかけ、女性中心の企画をするとのことでした。皆様もご一考されたいかがでしょうか。

(常任幹事・総務委員長 荻原弘章)



長吉理事長 栗田総長 山田学長を囲んで記念撮影

平成15年10月3日 信州でお会いしましょう

全国校友 長野大会

開催日 2003年 平成15年10月3日(金)
開催場所 長野県松本文化会館
松本市水汲69-2 TEL 0263-34-7100
記念講演 国宝松本城を世界遺産に
特別出演 才能教育 スズキメソード一行出演

信濃路を揺がす
紫紺の嵐
語らん哉 謳わん哉
アルプスの大地に



柳川屋
お勝

柳川屋直営/福岡市東区香住ヶ丘7丁目10-10

☎ (672)4469

すたんどばーA

〒810-0801
福岡市博多区中洲4-1-24
TEL 092-291-0325

作野 士郎
(タイ国名:ピンヨー スワッティ)

(昭和41年・政経学部卒)

Sin SINCE 1975
COMMUNICATION SERVICES

株式会社 シン企画
〒810-0042 福岡市中央区赤坂2丁目1-1
TEL 092-712-4161 FAX 092-781-2333

代表取締役社長
山崎 伸司

東の会と 森 泰播氏の思い出

東の会は明大校友会福岡支部の校友相互の親睦を更に深めると同時に、未加入校友の勧誘を行い、側面より支部に協力することを目的として、校友会を全面的に支援されている松本英一先生に微力ながら報いる為に発足した会です。

その会を約15年続けてきましたが、代表幹事の森 泰播氏が8月4日突然逝去されました。幹事が相談し東の会と森氏を偲ぶ会を同時に行うことを決め、例年より広範囲にご案内を差し上げましたところ、遠くは広島から応援団の校友が2名と合わせて30名の校友が出席していただき、森氏のありし日の思い出を偲び語り合う、大変有意義な会となりました。ここに紙面を借りて、東の会幹事一同厚く御礼申し上げます。

ご存知の様に森さんは応援団の出身だけに非常に母校愛が旺盛で福岡支部はもとより本部幹事等、永年貢献され、常に我々の代表として活躍され、福岡支部のリーダー的存在でした。私も年月を重ねる毎にその人柄に引かれ誘われるままに全国校友大会に、北は北海道に南は沖縄大会と同行し、その都度各地の応援団の校友とも昵懇になり随分と楽しい思い出を持つことが出来ました。又、支部活動では、マンドリン演奏会や駿台ゴルフ、明

福ゴルフ等、何かにつけ行動を共にすることが多く、思い返せば話は尽きません。常に中心的存在だった森さんが逝去され残念の極みですが、今は感謝の気持ちで一杯です。森さんの遺志を心として、微力ながら校友会に尽力してゆく所存ですので、どうか遠くの空から見守って下さい。

末筆ながら森さんのご冥福を念じ思い出の記といたします。合掌

平成14年11月 安永 富士男



40 数年に及ぶ友情を謝す

故・森泰播兄との初対面は昭和29年春。入試の合格発表の折り、記念館の前で故・林凱也先輩に引き合わされたのだ。以降、大学の同期として40数年に及ぶ交遊が続いた。学生時代、泰播兄は森皓三郎・主司郎の双子の先輩を筆頭に、白水、吉水、播磨、故・三洋の諸将とともに、世田谷・下馬の農家の離れで共同自炊生活を送っていた。ここは「梁山泊下馬」と称され、多くの諸兄が訪うところとなった。私もその一人として、いつ、いかなる折りにも心温かく、迎えていただいた。その折りにつけ、梁塵的存在であった泰播兄の懐の深さをしみじみと思った。

本校校舎へ進む前後、泰播兄が応援団に途中入団することとなった。話を聞いた私は声を大にして反対の意を表した覚えがあるが、彼は黙してその道を歩き通し、団の先輩後輩諸兄より大いなる信頼を得た。だが、卒業後やや暫く経って2人して飲んだ折り、先輩筋から断るに断れぬ推挙があつてのことで、嬉々としての入団ではなかったことを口にした。平成12年9月、校友会愛媛大会での一夜、2人して寿司屋で飯台を叩きながら激論をかわした。思えば、あの夜がお互いに本音で語り合えた最後の一夜となった。苦境に及びしも黙して語らず、請けて拒まず、耐えて生きた彼の心底に凝っていたものは一体何であったのだろうか？その時々に応じて発せられたシグナルを受け取りそこねた己の錆び付いた受信機の劣悪さをいくら嘆いても詮無きこと。後悔先に立たず…とは蓋し名言である。

泰播兄が示してくれた友情を謝しつつ筆を置きたい。

朝山 昭男
(昭和33年経営学部卒)



森先輩、ありがとうございました

森先輩との出会いは、今から10数年前。福岡で開催される全国校友大会の準備のためにセントラルホテルに呼び出された時、石井事務局長（当時）からご紹介を受けたのがきっかけでした。以来、公私ともに随分とお世話になりました。特に、故・林先輩から「次代を担う若手の育成をしろ」と言われ、博紫会を結成してからは、会の運営面で問題などが起きた時、いつも相談にのっていただいたのが森先輩でした。博紫会の予算や行事について、支部の役員の一員として支部長以下の意見のとりまとめにいたり、博紫会と支部とのパイプ役として、私たち若手（当時）の意見にじっと耳を傾け、時間を厭わず、私たちのために奔走していただきました。また、博紫会の会合には率先して参加していただき、会合の後の2次会などで、森先輩のお世話になった若手も随分といたのではないのでしょうか。森先輩についての思い出は尽きないのですが、何を言っても「都合良うやりやい」といいながら見せた笑顔が忘れられません。

今まで本当にありがとうございました。そして、さようなら…。

横田 耕治
(昭和49年工学部卒、博紫会初代会長)



第36回駿台ゴルフ会 (平成14年10月20日)

第36回駿台ゴルフ会が久留米支部のお世話で、10月20日の日曜日に、久留米CCで開催されました。天気は今にも雨が降りそうな風の強い中にスタートしましたが、幸いにも降られることなくプレーできました。久留米支部は八媛(八女)地区との交流コンペを兼ねて



の参加でありましたが、全体的に年々参加者が減少し今回は総勢22名、内福岡支部8名でした。

今回福岡支部勢が健闘し上位3名を独占しました。

次回は平成15年春に福岡支部の担当で開催致します。

		グロス	HD	ネット
優勝	末廣 正雄	89	16.8	72.2
2位	神永 正夫	95	22.8	72.2
				(卒年順)
3位	寿崎 豪	98	23.8	74.2

東京6大学OB会懇親ゴルフ会

11月13日古賀ゴルフ倶楽部で第6回東京6大学OB会懇親ゴルフ会が早稲田大学の幹事で17組64名の参加で開催された。

今年は冬の到来が早いのか冷え込みが強い日が続いており、風が強い中でのスタートであった。

プレー終了後、クラブハウスで懇親会が行われ、各大学毎のテーブルに着席をして行われたが、ラグビー部OBの森 重隆氏の明るいリードで明治のテーブルが大いに盛り上がった。

成績発表となり、明治は古賀GCのメンバーを初めベテラン・若手の強豪を揃え、森 重隆氏がベストグロス賞を獲得したにもかかわらず、僅かの差で今年も法政大学に敗れ2位に甘んじた。法政大学はWP方式の上位5名の累計でありながら4連覇となった。順位は優勝法政、2位明治、3位慶応、4位立教、5位早稲田、6位東京であった。

早稲田大学の江口氏の発案で、1位・2位・3位の大学の順を当てる馬券を行い、116口の売上があり、僅か2

口が当選者であった。その2口とも以外にも明治のメンバーが購入しており、明治内で激しいブーイングが起こった。(会長から優勝を目指せとの檄あり)

優勝した法政大学の校歌を参加者全員で斉唱し、記念撮影の後、来年は慶応大学の幹事で、同じ古賀ゴルフ倶楽部で開催することを確認し、解散した。

市内に戻り、馬券獲得者の小石原明福会会長の提供で明治の世話役がご馳走になったことを追記しておきます。



明福会ゴルフ会・忘年会



第22回 明福ゴルフ会が12月4日、筑紫ヶ丘ゴルフクラブで行われた。午前中は曇り時々雨、だが午後は急速に晴れるという天気予報が見事にはずれ午後から雨がひどくなる天候。しかし、雨でもおもしろいのがゴルフ! 19名の参加者が「一穴入魂」ゴルフを大いに楽しんだ。今回初参加者は1人。そして今回から馬券を採用。発奮材料満点のなか先輩後輩入り交えてのスタート。競技は谷底や丘を何度も走り回る人、サンドを何度もたたく人、などそれぞれの形でゴルフを楽しんだが、スコア

が1番良かったのは初参加の42年政経卒の伊東先輩だった。しかしながら、初参加のため大会規定により、同スコア年代順で2位だった善先輩が初優勝された。ただ、今回はダブルベリアでもスコアを取ったが、そこでの優勝はなんと28年卒の橋本敏夫先輩だったことを明記しておきます。さて、競技終了後、忘年会がセントラルホテルで行われた。忘年会だけの参加者も3名加えて、それぞれの成績を酒の肴に大いに盛り上がった。最後にみんなで校歌を斉唱して会を終了した。



新人紹介

故郷を離れ、
福岡で庭師の道へ。

愛葉 繁樹

平成7年農学部農学科卒
愛葉造園経営
愛知県出身



学生時代は緑地保全学研究室で、人の暮らしにおける緑地の役割などを学びました。卒業後、建設設計コンサルタント会社に入社。福岡支社で3年ほど公園の設計に携わっていました。しかし、机上で図面を引くだけでなく、自ら施工・管理まで手掛けたいと一念発起。造園業を営む親方の元で3年ほど“修行”し、2年前、独立しました。ゼミの卒業生の中で庭師になったのは私ひとり。教授にも喜んでいただきました。現在、個人のお客さまなどのお庭の設計・施工・管理（剪定・消毒）を手掛けています。これからも福岡で庭師として頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

「久々の校歌斉唱に感動。」

千葉 秀一

平成元年法学部法律学科卒
住友生命保険(株) 福岡支社 営業担当
宮城県仙台市出身



大学卒業後、住友生命に入社。以来、北海道釧路支社、東京本社、仙台南支社、愛知西支社を経て、福岡支社に着任しました。現在、企業さまへの営業を主に担当しています。福岡支部のことは、当社九州営業局に勤務の田中一平氏（昭和43年卒）から聞いて、人会させていただきました。懇親会の席では、博覧会のみなさまを始め、多くの方々と楽しい時間を過ごすことができました。また、久々の校歌斉唱には感動しました。九州については、大学3年の夏、友人と九州一周の貧乏旅行をしたことが心に残っています。しばらくは、福岡で頑張っていきたいので、よろしくお願いいたします。

18年ぶりの再会など、
楽しいひと時。

廣谷 信幸

平成元年政治経済学部経済学科卒
ソニー生命保険 北九州支社
ファイナンシャル・プランナー 北九州市門司区出身



現在、北九州市に在住していますが、ご縁があり、福岡支部の定期総会と懇親会に参加させていただきました。明治の名のもとに、幅広い年齢層の先輩・後輩が集まり、和気あいあいと語り合う場があるというのは素晴らしいことだと思いました。そこでは18年ぶりとなる同期との懐かしい再会もあるなど、私も楽しいひと時を過ごさせていただきました。

現在、ソニー生命のファイナンシャル・プランナーとして、オーナー社長、ドクター、個人の方々のライフプランニング、相続、事業承継などのコンサルティングを行っています。今後も福岡支部には顔を出させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

多くの先輩方がいて心強い。

松尾 祥昌

平成14年商学部商学科卒
新光証券 福岡支社 営業部営業4課
広島県出身



社会人になって約8カ月が経ちました。まだ、不慣れなことばかりで、右往左往の毎日です。現在、個人や法人のお客様に株式・債権・投資信託・変額保険などのご提案をさせて頂いています。お客様のニーズに合った商品をお客さまにご提案するかということに心掛けています。これまで、福岡・九州には一度も来たことがありませんでした。もちろん、知人もいません。しかし、校友会に参加し、福岡・九州に多くの先輩方がいらっしゃることを知って心強い気がしました。今後も積極的に会合などへ参加させて頂き、地元の情報や気質などを学ばせて頂きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 **野口 順四郎**
(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1
TEL (092) 611-4423
FAX (092) 611-4572

ダイニッカ株式会社

九州地区福岡支店

取締役地区長 兼 支店長 **内田 紀生**
(昭和40年・法学部卒)

〒813-0062
福岡市東区松島3-3-5
TEL (092) 621-1631(代)
FAX (092) 621-1635

セントラルホテルフオカ

SNACK

Viva・Zone
(ビバ・ゾーン)

TEL 725-8323

■営業時間 6:00p.m.~12:00p.m.まで

(明大割引ございますので申し出ください)

明治大学社会科学研究所福岡講演会

平成14年8月23日アクロス福岡において明治大学社会科学研究所主催福岡講演会で商学部教授大友 純教授が「これからのビジネスの決め手としての・情報優位性の確保と通信技術の発展」と題した講演を行われた。この講演会は大学が所属の研究員の研究成果を地域に向けて開放し、大学と地域との知の交流を目指し、毎年全国各地で講演会を行うもので昨年の仙台に続いて開催された。金曜の夕方18時半から開催され、校友のみならず、校友の会社の方や友人、一般参加の方を含め80余名の出席のもと行われた。受講者からは、分かりやすい説明で、時流にあった内容で大変参考になったと、大変好評であった。

この様な講演会を今後も大学と提携して随時開催したいと考えています。テーマ等ご要望がありましたら、事務局までご連絡下さい。



商学部教授 大友 純氏

東京6大学応援団OB会九州支部発足

去る9月14日東京6大学応援団OB会九州支部の会合が博多駅東のグリーンホテルで慶応大学の呼びかけで、各校から25名のOBが集まり開催されました。東京では活発に交流を深めており、九州でも組織しようとなった次第です。若いOBも多く、年の差はあれども、話が弾み和気藹々の会となった。東大OBの古賀市長の中村氏も選挙を目の前に控えながらも出席され、大いに盛り上が

った。今回は慶応大学が幹事役を引き受けられ、再会を楽しみに、各校の校歌を歌って参会した。因みに出席者は、東大3名、慶応8名、早稲田6名、法政4名、立教2名、明治は上杉、津島の2名でした。

応援団OB・福岡支部広報組織委員長
上杉 鷹雄

アカデミーコモン

駿河台B地区建物名称決定
アカデミーコモン (ACADEMY COMMON)

名称公募されていた、駿河台B地区建物(5・6・13号館跡地に建設中)の建物名称が「アカデミーコモン (ACADEMY COMMON)」に決定した。社会に開かれた大学として、高度専門職業人養成や生涯学習の充実など、社会のさまざまな要請に対応するため、駿河台とい

う都心に位置しているメリットを最大限に活かすことを考え計画された。

地上11階地下2階高さ78m、2003年12月竣工、2004年4月建物使用開始を予定している。



活魚料理 食事処

杉庵

会 長 上杉鷹雄
(昭和33年・商学部卒)

〒813-0062

福岡市東区松島3-16-11

TEL 6 1 1 - 7 2 8 4



代表取締役
松山孝義
(昭和60年 法学部卒)

 松山建設株式会社

〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002
e-mail:tm1999@pop06.odn.ne.jp

校友クローズアップ

福岡県議会55代議長

久保 九州雄
昭和34年経済学部卒



今回の校友クローズアップには、福岡県議会議長の久保九州雄氏に登場いただいた。久保九州雄氏は北九州市門司区選出で今年67歳、昭和62年初当選以来議会運営委員長など数々の委員長を経験の後、平成14年5月、第55代目の福岡県議会議長に就任された。

まず、学生時代のことを伺う。久保議長は昭和34年経済学部卒（当時は経済学部があったそうだ）。本来なら32年卒だが、当時医療技術が未熟で、肺ジストマを結核と間違えられて、2年間も結核療養のため休学を余儀なくされた。この2年の療養生活は、精神的にも大変だったと思われる。しかし、復帰後は先生方や事務職員の方々と温かい交流があり、思い出多い学生生活を送られた。当時は授業は厳しく、ドイツ語のテストの成績は良かったものの出席日数が足りずに留年しそうになった時、仲の良かった事務室の相沢さんに相談に行ったら、「ウィスキーを持って行ってお願いしてこい」と言われ友達4~5人を連れて一晩粘って何とか目をつぶってもらった」との事。「当時の先生は厳しかったけど温情があったなあ」と懐かしそうに語られた。

当時、家業が新聞輸送やタクシー会社など運輸関係の仕事をしていたため、自動車に早くから興味を持ち、門司高校3年生の時に免許を取られた。多分、門司高校最初の免許取得者だったとの事である。大学では自動車部に在籍されたが、休学のため2年で退部を余儀なくされた。当時、国産車は少なく、外国車ばかりで

ヒルマン・ハドソンなどの外国車の名前がボンボン出てきた。夏休みには、家業のタクシー会社を手伝われ、朝鮮戦争帰りのアメリカ兵がチップを随分くれ結構な小遣い銭稼ぎになったそうだ。二種免許などないおらかな時代ならではの話である。

久保議長は福岡支部との関わりも深く、木元規矩男支部長時代には福岡支部の総会にも度々出席され、第一回韓国同窓会総会訪問の時、故林凱也先輩等と一緒に参加されるなど、校友会活動にも深い理解をお持ちであり、これを機会に会合にも積極的に出席していただけるそうだ。昭和62年初当選の時も、議長になっても、明大の先輩諸氏に色々ご支援ご指導をいただいたとの事。特に今回の議長就任に際しては明大先輩議員の田中久也氏に事のほかお世話になり、明治大学の深い絆に感謝されていた。

県政も、統一地方選挙を控え、予断を許さぬ厳しい時期であるが、「議長が北の北九州市出身、副議長が南の大牟田出身であり、福岡県の均衡ある発展をめざして頑張りたい」と抱負を語られた。

明大出身の福岡県議会議長は33年卒の福岡支部の田中久也氏に続く二人目であり、明治魂を発揮して今後益々活躍されんことを大いに期待したいものである。

福岡支部常任幹事 本田 博志
(昭和52年法卒)



福岡県庁 議長室にて編集委員と

お目ざめは

フクオカのセントラル
(市の中心)



セントラルホテルフクオカ

- 13F/オーロラランドバス(展望大浴場・サウナバス)
- 4~13F/客室(シングル・ツイン)275室・収容人員370名
- 3F/宴会場・結婚式場・会議室
- 2F/季節料理「しげ富」・純中国料理「蘭蘭」
- 1F/ロビー・フロント・コーヒラウンジ・駐車場
- B1F/名店街(セントラルスクエア)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目1-2(九電ビル横) ☎092-712-1212

●ご予約 ☎092-712-5489

萩・長門支部から

明治大学校友会萩・長門支部から協力の要請です。

萩・長門支部の原本 直紀氏が、脚本を書かれた「金子みすゞ」のお芝居が門司と福岡で公演されます。明大校友会福岡県連合支部で後援致します。皆様も是非お出かけ下さい。

原本 直紀 (昭和49年法学部卒)

明大演劇研究部、劇団俳小 (俳優小劇場) 養成所、劇団現代を経て、山口県豊浦町に戻り「アトリエ芝居小屋」を開設。金子みすゞの資料を集め脚本を書き上げ県内で公演。

◆金子みすゞ生誕百年祭◆

「みすゞ幻灯」(下関版) さみしい王女 を上演

○平成15年4月11日

門司「旧大阪商船・海峡ロマンホール」
北九州市門司区港町7-18

○平成15年4月12日

福岡「ぼんプラザホール」
福岡市博多区祇園町8-3

※入場料は共に前売1,000円です。

問合せ先 アトリエ芝居小屋 原本 直紀
〒759-6302 山口県豊浦郡豊浦町小串上石堂4-16
TEL・FAX 0837-75-1079

連絡先 芝居茶屋
TEL 0837-72-1650
(日曜日を除く7:00~19:00)

福岡支部新年交礼会のご案内

1. 日 時 平成15年1月15日(水) 18:30~

2. 場 所 セントラルホテルフクオカ
福岡市中央区渡辺通4-1-2
TEL 092-712-1212
FAX 092-761-8980

3. 会 費 5,000円
(但し女性と平成7年卒以降の校友は4,000円)

4. お問合せ先
明治大学校友会福岡支部
事務局長 矢谷 学 (50法)
092-631-3336 三栄印刷株

事務局通信

自宅住所・勤務先等変更がございましたら、事務局又は、事務局長にご連絡をお願い致します。

2004年の全国校友福岡大会にむけて、福岡支部のより一層の充実をはかりたいと考えています。新しい校友、ご案内が届いていない校友がおられれば、ご連絡をお願い致します。

事務局 セントラルホテルフクオカ内(末次)
TEL 712-1212 FAX 761-8980
事務局長 矢谷 学
三栄印刷(株)
TEL 631-3336 FAX 631-3338

編集後記

明けましてお目出度う御座います。

支部だより11号をお届け致します。今年こそと思いきや、小泉内閣に期待をして景気回復に頑張ってもらいましたが、全然良くなりません。株値は下がる一方で先行き不安ばかりです。校友の皆様には是非今年こそ打ち勝って下さい。昨年8月4日に私の同期の森泰博氏の突然の訃報を聞き愕然と致しました。大学では同じ応援団の釜

の飯を食べ、卒業後は長い間、校友会活動の中心として福岡支部の為に働きました。ここにご冥福をお祈り致します。校友の皆様にはご健康とご繁栄ご多幸にお過ごし下さいます様お願い申し上げます。

編集委員長 上杉 鷹雄 (昭33 商)
委員 神永 正夫 (昭37 法)
会計 野口順四郎 (昭41 法)
委員 二木 清彦 (昭52 政経)
" 本田 博志 (昭52 法)
" 齊藤 博文 (平元 文)
事務局 矢谷 学 (昭50 法)

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要だと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからいろいろなか所で
カタチにしていきたい。



いつも人が
発想の原点。

株式会社 **松本組** 代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)
[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031(代)